



地域別方針

第6章 地域別方針

将来像の実現には、市民、活動団体、民間事業者、行政等の各主体が、それぞれの身近な地域における緑の取組を大切にすることが必要です。その際は、各主体が地域の特徴や課題を踏まえ、将来像を共有し、協働して取組を企画し、実践することが重要です。

そこで、ここでは、身近な地域における取組の羅針盤として、本市が、各主体と共有したい地域の特徴と課題、将来像、取組の方向性を示します。

地域の区分は、下図のとおり、本市の都市の成り立ちや土地利用としてのまとめり、各地域の特色等を踏まえ、市域を5つの地域に区分[※]しました。



地域区分図

※緑の基本計画の上位計画である「宇都宮市都市計画マスタープラン」が定める「地域別構想」の地域区分に合致

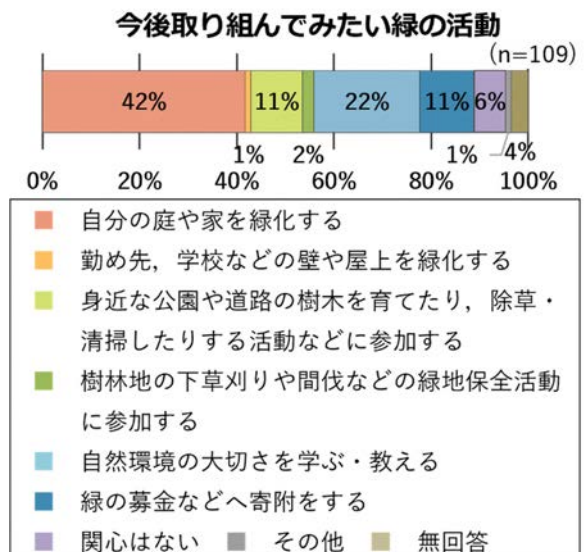
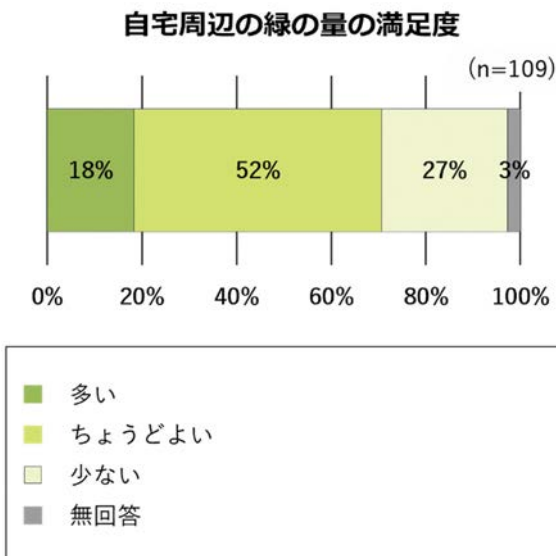
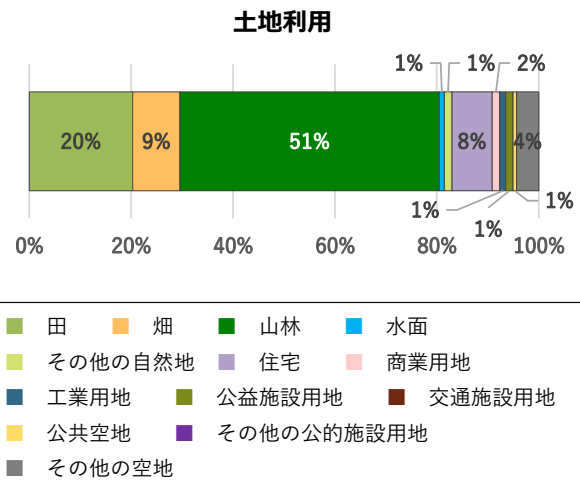
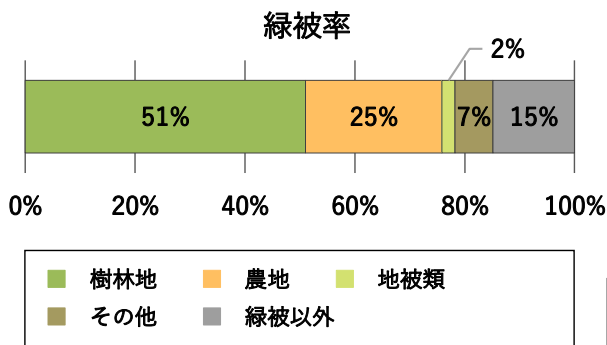
1 北西部地域

(1) 地域の特徴

本市の山林の約半分を抱えており、自然岩による独特の自然景観をもつ大谷地域，歴史と自然が魅力となっている多気地区，アウトドア施設等の自然体験機能が充実している古賀志地区，田川水系の最上流部（水源）が位置する等，北部丘陵の豊かな自然を有しています。また，農林業の振興と地域の活性化を図る「農林公園ろまんちっく村」や，自然とのふれあいや体験活動等のレクリエーション拠点となっている「うつのみや平成記念子どものもり公園」等，観光・交流資源に恵まれている地域です。



(2) 主要データ





大谷景観公園



ろまんちっく村

(3) まちづくりの課題

- 観光・交流資源の有機的連携，体験型・参加型観光の促進等，観光ニーズの多様化等への対応
- 農林業の基盤となる優良な農地・森林等の適切な保全及び観光農業や直売等都市と農村の交流による活性化
- 農地や山林を支える良好な定住環境の形成や，市街化調整区域の地域拠点・小学校周辺を中心とした地域の活力コミュニティの維持

(4) 将来像

大谷七名山や田園等 地域の自然と歴史が人を呼び込み、 都市と農村の交流を支えています

(5) 緑の取組方向

基本方針1 宇都宮市を形づくるみどりを継承する

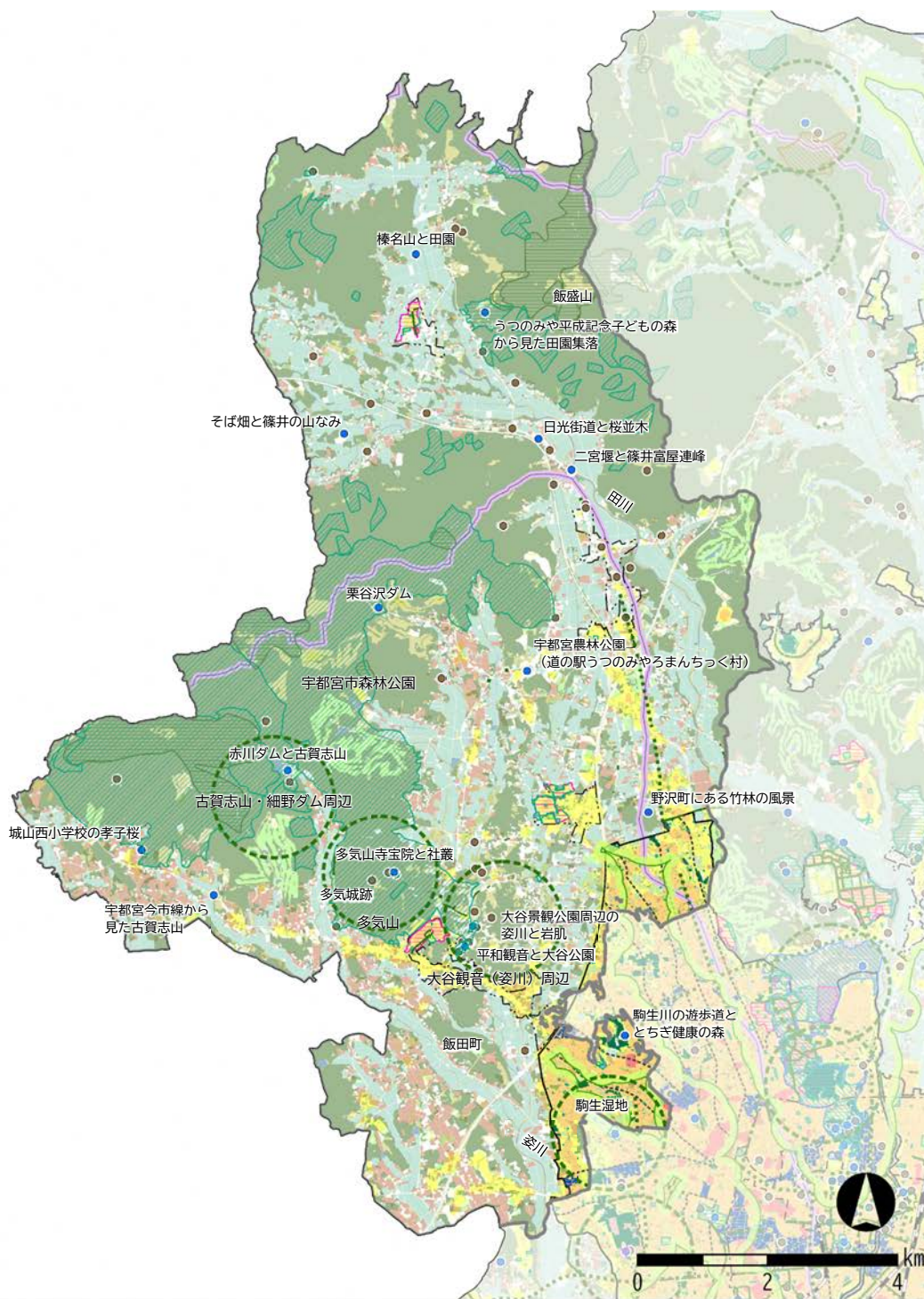
- 日光連山から続く飯盛山や古賀志山，多気山等の山地や飯田町の樹林地，こうした山地と一体となった姿川や田川を擁する田園地帯の緑の保全や，釜川の水源となっている弁天沼では，その周辺の樹林地等も含めた一体的な自然環境の保全を図ります。
- 大谷石の岩肌，アカマツやコナラ林等の植生が相まって独特の景観を醸し出している大谷公園等の地域の文化的景観や，城山地区の呼び名の由来ともなった多気城跡といった地域の歴史・文化資源と一体となった緑を観光資源やレクリエーションの場として活用することで，その保全を図ります。
- 田園地帯と一体となって景観を形成している河川等，地域らしさを伝える緑の保全を図るとともに，市民が緑にふれあえる場としての活用を進めます。また，中心市街地へ続く丘陵地の樹林地保全等，緑の連担性の確保を図ります。

基本方針2 質の高いみどりを増やし，まちの魅力につなげる

- 官民連携による森林公園の体験型公園等としての利活用や，日光街道や大谷街道等歴史性の感じられる道路，観光地周辺の道路の景観保全，田川サイクリングロードの整備等，観光資源としての緑の活用を進めます。
- 姿川・田川の上流域に位置する森林や農地の保全，田んぼダムの普及等による雨水貯留浸透機能の確保を進めます。
- 市街化調整区域の地域拠点では，自然環境に恵まれた地域特性を活かし，地区計画制度等を用いた田園と調和した居住空間づくりを推進するとともに，農地の保全及び農とふれあう場の創出を図ります。
- 様々なラン科の植物やサンコウチョウをはじめ重要種が多く生息・生育しており，古賀志山・赤川ダム周辺の岩角地や崖，渓流環境等自然状態の高い山地特有の環境や，田川の最上流部等の清流，多気山や姿川周辺の人里近くに存在する特有の自然環境といった，市を代表する多様な緑の保全を図ります。

基本方針3 みどりを楽しみ，愛着を育む

- 平成記念子どものもり公園や森林公園や，ろまんちっく村での自然環境や農業にふれあう場の提供を通じて緑に対する意識の醸成を図ります。
- 北部丘陵をはじめとする豊かな自然とのふれあいや体験活動やレクリエーション等を通じて，自然環境について地域住民が学びあう機会の提供を図ります。



凡例 ①市を代表する自然環境 ②ネットワーク(コア, 1次サテライトからのバッファ) ③地域制緑地(都市公園, 県立自然公園, 緑地協定区域, 保安林, 国有林県有林) ④居住誘導区域, 地域拠点区域, 市街化区域 ⑤うつのみや百景, 文化財	都市公園 県立自然公園 緑地協定区域 保安林 国有林県有林	居住誘導区域(緑化重点地区) 地域拠点区域 市街化区域	樹林地 地被類 その他 田 畑 河川 流域界 街路樹(市道) 街路樹(国道・県道) うつのみや百景(緑に関するもの) 文化財(史跡, 名勝, 天然記念物)
---	---	-----------------------------------	---

北西部地域の緑の状況

※図の表示内容は、上の階層から下の階層にかけて、次の番号順に表示されている。

- | | |
|---|----------------------|
| ①市を代表する自然環境 | ⑥流域, 河川 |
| ②ネットワーク(コア, 1次サテライトからのバッファ) | ⑦街路樹(市道, 国道・県道) |
| ③地域制緑地(都市公園, 県立自然公園, 緑地協定区域, 保安林, 国有林県有林) | ⑧身近な公園誘致圏に含まれていない住宅地 |
| ④居住誘導区域, 地域拠点区域, 市街化区域 | ⑨市街化区域内の緑被の累積流量積算値 |
| ⑤うつのみや百景, 文化財 | ⑩樹林地, 地被類, 田, 畑, その他 |
| | ⑪地表面温度分布 |

2 北東部地域

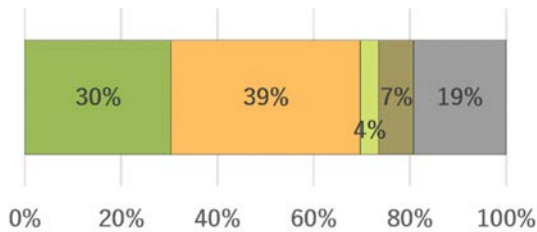
(1) 地域の特徴

上河内地区の象徴的な存在である羽黒山を起点として西部に山々が連なり、山の麓には谷戸が形成されています。鬼怒川、西鬼怒川、山田川、谷川等の水辺が多く、宿場町の趣が残る「白沢宿」等、美しい田園・屋敷林が見られ、豊かな水と緑の自然環境と良好な居住環境が調和し、多くの歴史・文化資源が点在しています。

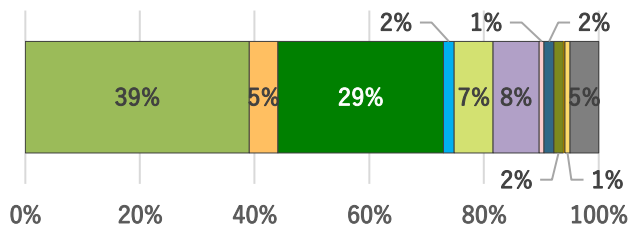


(2) 主要データ

緑被率



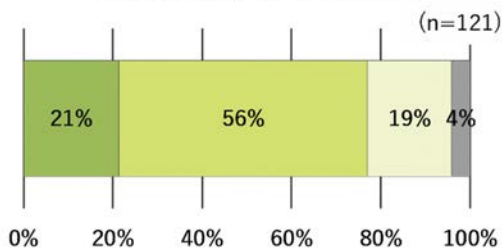
土地利用



- 樹林地
- 農地
- 地被類
- その他
- 緑被以外

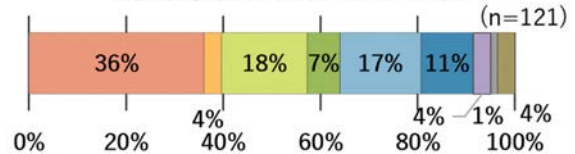
- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地
- 住宅
- 商業用地
- 工業用地
- 公益施設用地
- 交通施設用地
- 公共空地
- その他の公的施設用地
- その他の空地

自宅周辺の緑の量の満足度



- 多い
- ちょうどよい
- 少ない
- 無回答

今後取り組んでみたい緑の活動



- 自分の庭や家を緑化する
- 勤め先、学校などの壁や屋上を緑化する
- 身近な公園や道路の樹木を育てたり、除草・清掃したりする活動などに参加する
- 樹林地の下草刈りや間伐などの緑地保全活動に参加する
- 自然環境の大切さを学ぶ・教える
- 緑の募金などへ寄附をする
- 関心はない
- その他
- 無回答



羽黒山



西下ヶ橋の谷川

(3) まちづくりの課題

- 西下ヶ橋地区や白沢宿，集落の屋敷林といった貴重な田園・集落環境の保全と継承
- 羽黒山や鬼怒川河川敷の緑水公園を含む一帯に点在する自然や歴史文化的資源の連携による有効活用
- スプロール化した市街地の改善
- 良好な定住環境，市街化調整区域の地域拠点・小学校周辺を中心とした地域の活力，コミュニティの維持

(4) 将来像

羽黒山を背景に、
鬼怒川流域に広がる田園・集落が歴史を育み、
潤いとゆとりある居住環境を形成しています

(5) 緑の取組方向

基本方針1 宇都宮市を形づくるみどりを継承する

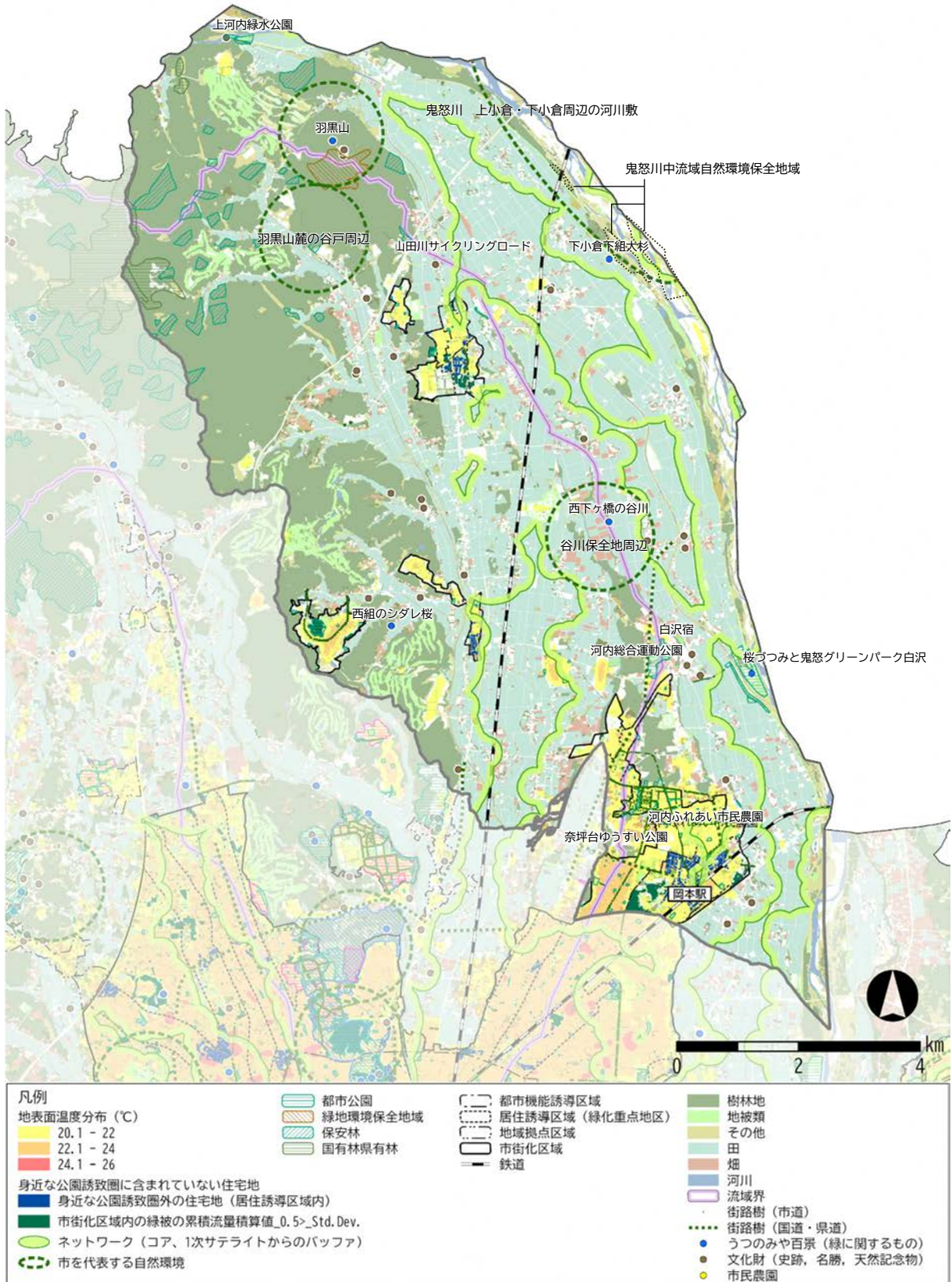
- 羽黒山といった地域を代表する山地や、白沢・中岡本地区に残される平地林、鬼怒川流域に広がる田園地帯等、里地里山の緑の保全を進めます。
- 古くから人々の信仰を集めてきた羽黒山や、農村地域の人々の営みを今に伝える田園地帯、宿場町の風情を残す白沢宿等の歴史・文化的な緑の保全活用を進めます。
- 河川と一体となった田園地帯のサイクリングロードの整備等、水辺や農地といった地域らしい緑ある景観の保全に留意するとともに、市民が緑にふれあえる身近な空間整備を推進します。

基本方針2 質の高いみどりを増やし、まちの魅力につなげる

- 岡本駅周辺では、快適な都市環境の維持や潤いある景観形成に資する緑化を図ります。また、白沢宿の歴史あるまちなみや旧奥州街道沿いの保全等、緑と一体となった特色ある景観を活かしたにぎわいの創出及び地域の活性化を図ります。
- 中心市街地の上流域に位置する本地域において、上流部の森林や農地の保全、田んぼダムの普及等による雨水貯留浸透機能の確保を進めます。
- 上河内緑水公園や奈坪台ゆうすい公園、鬼怒グリーンパーク白沢等、緑と水が一体となった既存の自然体験機能やレクリエーション拠点の活用を進めます。また、農福連携等の多主体の参画等により、農地の保全及び農とふれあう場の創出を図ります。
- 羽黒山をはじめとする北部丘陵の山林や、エンコウソウやホトケドジョウ等特有の種が生息する谷戸環境、積極的な農村生態系の保全がなされる谷川保全地、鬼怒川上小倉・下小倉に残るカラワノギクやシルビアシジミ等の希少動植物がみられる礫河原環境等、地域内に点在する多様な水や緑の資源を連携して保全、活用します。

基本方針3 みどりを楽しみ、愛着を育む

- 河内総合運動公園や鬼怒グリーンパーク白沢や、河内ふれあい市民農園等の市民が緑とふれあう拠点の活用を進めます。
- 山林や農地等豊かな自然環境や景観を活かし、市民協働による里地里山の保全活動や河川周辺の植栽活動、企業の参画による森林保全活動等、多様な主体の参画による緑の保全や創出を促進します。また、地域拠点の岡本駅周辺地区や中里原地区では、地域住民との対話を通じた緑化の推進によって快適な都市環境の維持や潤いある景観形成を図ります。



北東部地域の緑の状況

※図の表示内容は、上の階層から下の階層にかけて、次の番号順に表示されている。

- | | |
|--|----------------------|
| ①市を代表する自然環境 | ⑥流域、河川 |
| ②ネットワーク (コア、1次サテライトからのバッファ) | ⑦街路樹 (市道、国道・県道) |
| ③地域制緑地 (都市公園、県立自然公園、緑地協定区域、保安林、国有林県有林) | ⑧身近な公園誘致圏に含まれていない住宅地 |
| ④居住誘導区域、地域拠点区域、市街化区域 | ⑨市街化区域内の緑被の累積流量積算値 |
| ⑤うつつのみや百景、文化財 | ⑩樹林地、地被類、田、畑、その他 |
| | ⑪地表面温度分布 |

3 中央地域

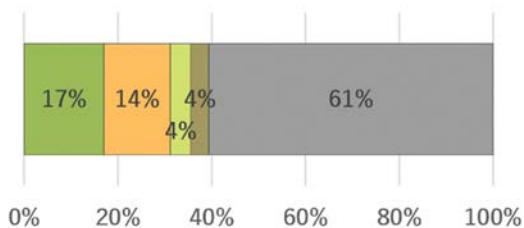
(1) 地域の特徴

栃木県の政治・行政・経済・文化の中心として、宇都宮を代表する都市機能や商業・業務機能が集積する都心地区とその周辺の住宅、田園地域から成り立っています。地域の多くを市街地が占めていますが、北部には丘陵地等の自然環境や田園空間が広がっており、特に、うつのみや文化の森から長岡樹林地、戸祭山緑地、八幡山公園、二荒山神社まで連なる^{くまび}楔状に張り出す丘陵地は、市街地に残る貴重な自然となっています。地域内には、田川や釜川等良好な自然・景観資源となる河川が貫流しています。また、現在、東西基幹公共交通であるLRTの整備が進んでいます。

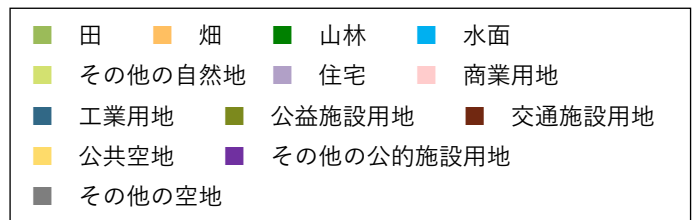
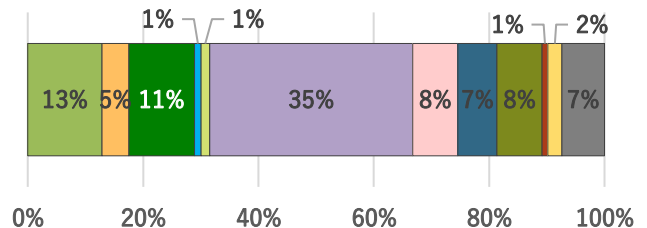


(2) 主要データ

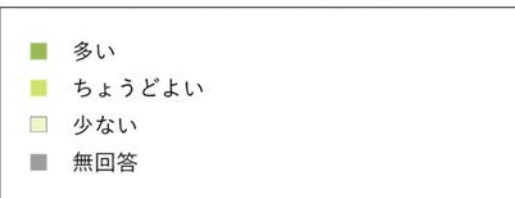
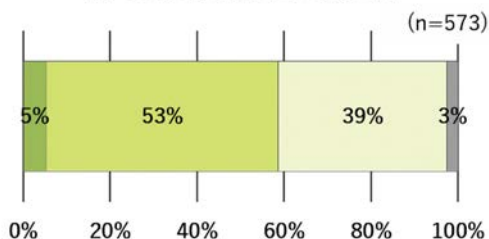
緑被率



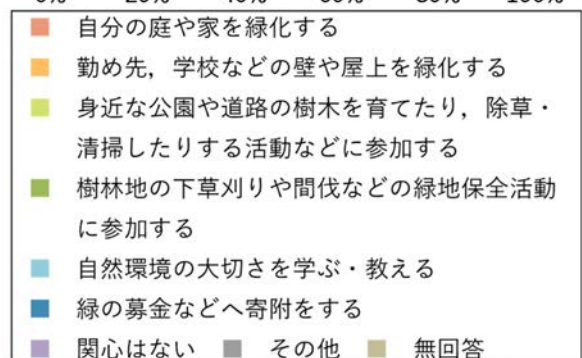
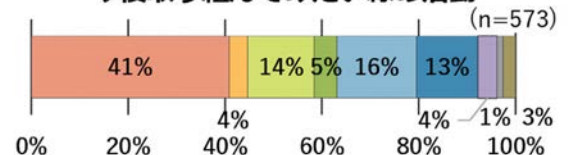
土地利用



自宅周辺の緑の量の満足度



今後取り組んでみたい緑の活動





宇都宮城址公園



田川の遊歩道

(3) まちづくりの課題

- 低未利用地の有効活用等による賑わい創出等，市内外の交流人口増加や都市全体の活性化・魅力向上につながるまちづくり
- まちなかにおける緑陰形成等によるヒートアイランド現象の緩和
- 田園地域における農業振興や農村地域の活性化のため，その基盤となる優良な農地の適切な保全，良好な定住環境，市街化調整区域の地域拠点・小学校周辺を中心とした地域の活力，コミュニティの維持

(4) 将来像

二荒山に続く緑の連なりを背景に，居心地の良い緑が，
本市の顔としての魅力・風格・賑わいを，
まちに広げています

(5) 緑の取組方向

基本方針1 宇都宮市を形づくるみどりを継承する

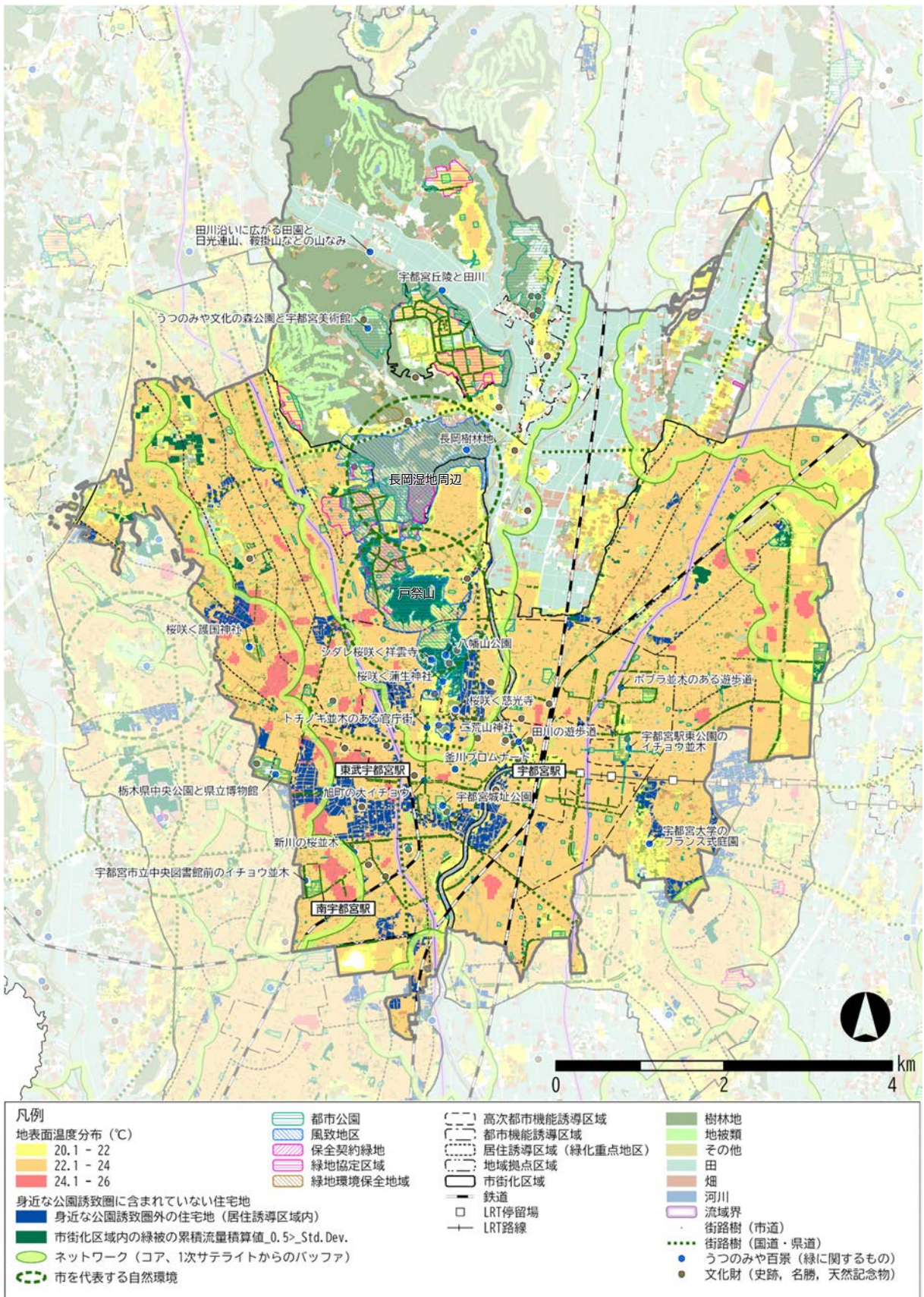
- 北部丘陵の里山・樹林地，うつのみや文化の森や戸祭山緑地・八幡山公園等の適切な管理を継続していくとともに，市民の憩いの空間にもなっている緑の保全・活用を図ります。
- 宇都宮城址公園，日光街道等の歴史的資源，二荒山神社の社寺林等，地域の歴史・文化資源と一体となった緑の保全に努めます。
- 長岡樹林地等の北部丘陵，その周辺を流れる田川や釜川等，連続性のある水・緑を保全するとともに，田川における多自然川づくり等，市民が自然に触れ合える身近な空間として活用を図ります。

基本方針2 質の高いみどりを増やし，まちの魅力につなげる

- 高次都市機能誘導区域や都市機能誘導区域では，居住環境の向上やまちの賑わい創出のため，市街地再開発事業等による都市機能の更新の機会に合わせた緑の創出，市民緑地認定制度を活用した低未利用地の活用，釜川プロムナードにおける花壇の設置，ハンギングバスケット等による人の視界に入りやすい箇所の緑化等，目に見える緑の量の増加を意識しながら，緑を通じたまちの魅力向上，歩きやすい快適な空間形成を進めます。
- 公園や公開空地，道路空間等における雨水貯留・浸透施設の設置，避難場所となるオープンスペースの確保等によって，災害時にも都市活動が止まることのない強靱なまちの形成を図ります。
- 居住誘導区域を中心とした公園空白地域において公園整備を推進するとともに，更新にあっても，地域ニーズを捉えながらレクリエーションや自然教育，健康増進の場等として，回遊性の向上にもつなげる公園づくりに努めます。また，生産緑地制度を活用しながら市街化区域の農地の保全・活用を図ります。
- 屋上緑化や壁面緑化，道路緑化等，官民連携による緑化によって，ヒートアイランド現象の緩和等，都市活動に起因する環境への負荷の緩和，適応を図るとともに，トウキョウサンショウウオやホトケドジョウ，ゲンジボタル等の重要種の生息地となっている宇都宮丘陵に残存する樹林，谷戸や湿地が混在する環境を保全します。

基本方針3 みどりを楽しみ，愛着を育む

- ハンギングバスケット等の緑化活動，まちなかの公共空地を活用した社会実験，郊外部の農とのふれあい機会等を通じて，緑に関する市民意識の醸成を図ります。
- まちなかにおける緑の創出，長岡樹林地の維持管理等，緑と関わる多様な機会を創出するとともに，市民，団体，企業，大学等，多様な主体の参画を図ります。



中央地域の緑の状況

- ※図の表示内容は、上の階層から下の階層にかけて、次の番号順に表示されている。
- | | |
|--|----------------------|
| ①市を代表する自然環境 | ⑥流域、河川 |
| ②ネットワーク (コア、1次サテライトからのバッファ) | ⑦街路樹 (市道、国道・県道) |
| ③地域制緑地 (都市公園、県立自然公園、緑地協定区域、保安林、国有林県有林) | ⑧身近な公園誘致圏に含まれていない住宅地 |
| ④居住誘導区域、地域拠点区域、市街化区域 | ⑨市街化区域内の緑被の累積流量積算値 |
| ⑤うつつのみや百景、文化財 | ⑩樹林地、地被類、田、畑、その他 |
| | ⑪地表面温度分布 |

4 東部地域

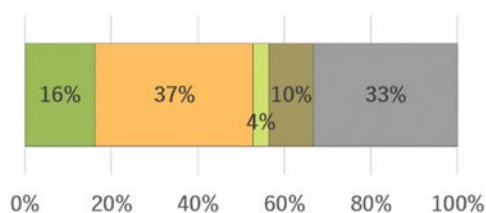
(1) 地域の特徴

鬼怒川流域の肥沃な土地と豊かな水資源に恵まれた田園地帯が広がり、また、鬼怒川左岸台地の畑作地帯では、野菜・果樹等の園芸農業も盛んである等、農業地域となっています。鬼怒川が地域内を貫流しており、身近な自然と親しみ、ふれあうことが出来る地域です。さらに、内陸型工業団地として国内最大規模の清原工業団地が立地しているほか、地域拠点かつ産業拠点であるテクノポリスセンター地区や瑞穂野団地周辺では、居住や生活利便機能、産業機能が調和した居住地、産業地帯が形成されている地域でもあります。また、現在、東西基幹公共交通であるLRTの整備が進んでいます。

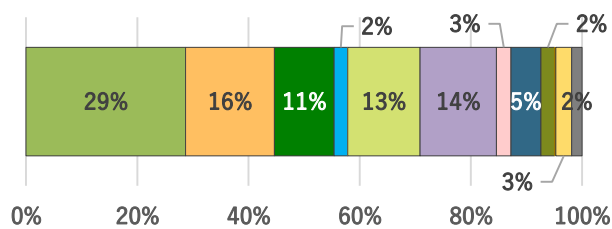


(2) 主要データ

緑被率



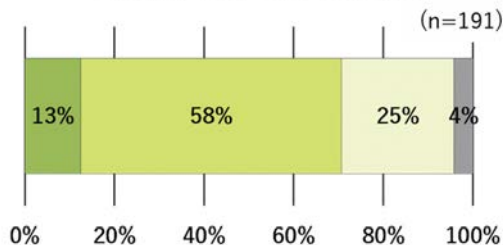
土地利用



- 樹林地
- 農地
- 地被類
- その他
- 緑被以外

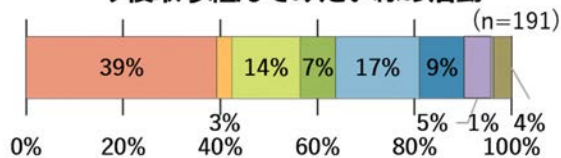
- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地
- 住宅
- 商業用地
- 工業用地
- 公益施設用地
- 交通施設用地
- 公共空地
- その他の公的施設用地
- その他の空地

自宅周辺の緑の量の満足度



- 多い
- ちょうどよい
- 少ない
- 無回答

今後取り組んでみたい緑の活動



- 自分の庭や家を緑化する
- 勤め先、学校などの壁や屋上を緑化する
- 身近な公園や道路の樹木を育てたり、除草・清掃したりする活動などに参加する
- 樹林地の下草刈りや間伐などの緑地保全活動に参加する
- 自然環境の大切さを学ぶ・教える
- 緑の募金などへ寄付をする
- 関心はない
- その他
- 無回答



飛山城跡



清原工業団地

(3) まちづくりの課題

- 地域の農業振興や農村地域の活性化の基盤となる優良な農地の適切な保全，良好な定住環境，市街化調整区域の地域拠点・小学校周辺を中心とした地域の活力，コミュニティの維持
- 地域拠点かつ産業拠点であるテクノポリスセンター地区，瑞穂野団地周辺での居住や生活利便機能，産業機能が調和した居住地，産業地の維持・形成
- LRT 整備を契機とした，沿線の立地ポテンシャルの活用や地域特性に応じた土地利用の促進

(4) 将来像

**鬼怒川の流れと田園が，身近な自然とのふれあいを
育み，緑と調和した産業が地域の活力を生んでいます**

(5) 緑の取組方向

基本方針1 宇都宮市を形づくるみどりを継承する

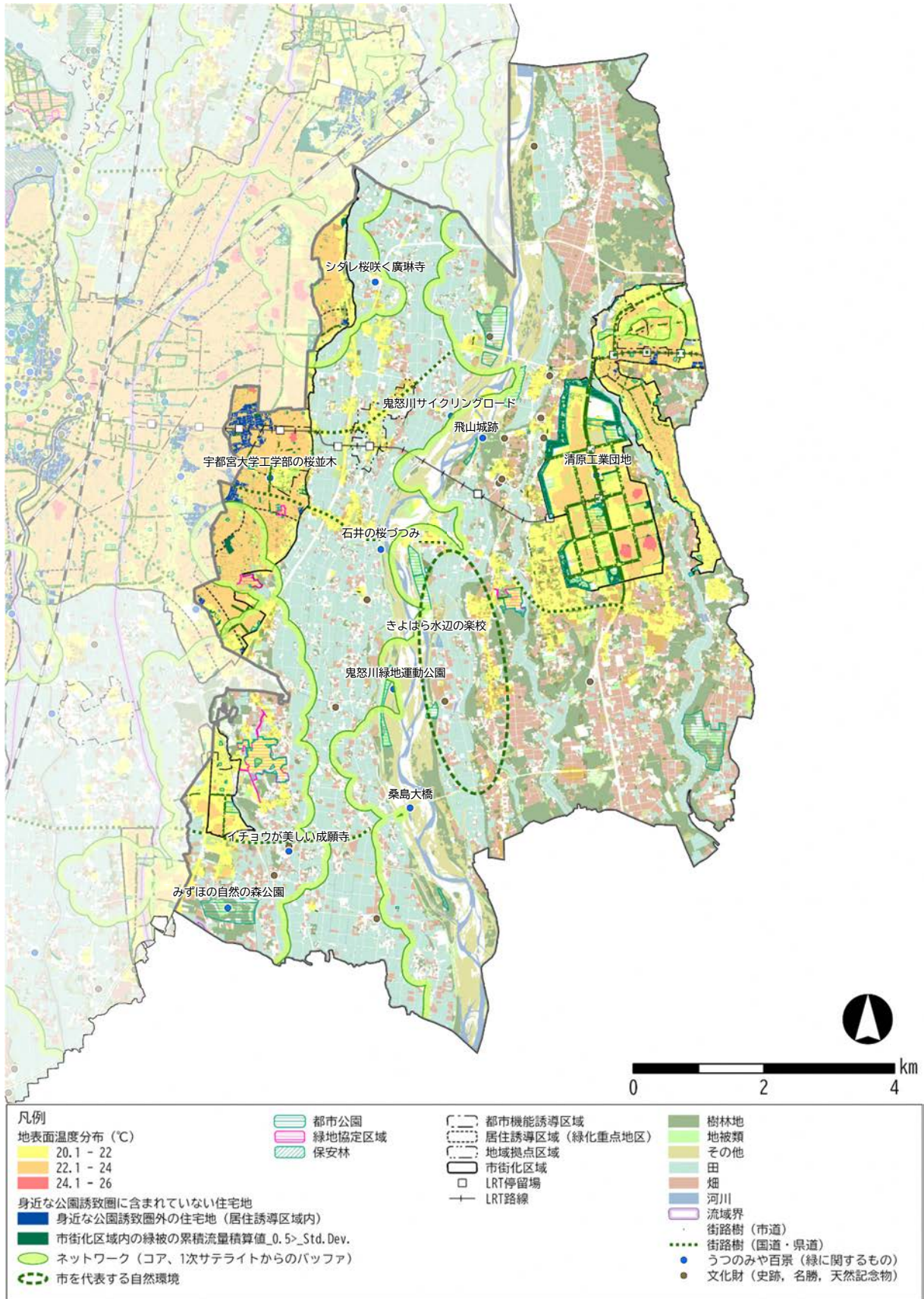
- 礫河原の河川環境が特徴的な鬼怒川の河川敷や，沿川の田園地帯や谷戸，河岸段丘沿いに残された斜面林といった，水と緑が一体となった豊かな自然環境の保全を進めます。
- 飛山城史跡公園として整備され，戦国時代の建物が復元されている国指定史跡の飛山城跡や，鬼怒川周辺の田園地帯と集落の屋敷林といった，地域の歴史・文化を今に伝える景観と一体となった緑の保全を進めます。
- 市街地周辺に残された斜面林や平地林等の貴重な樹林地の保全による緑の連担性の確保を図ります。また，きよはら水辺の楽校やみずほの自然の森公園等の自然に触れ合える身近な空間の活用を推進します。

基本方針2 質の高いみどりを増やし，まちの魅力につなげる

- テクノポリスセンター地区や清原工業団地等，産業地域での緑化による良好な都市環境の形成や，LRT 停留場エリアでの官民連携による公園緑地の整備等による地域の活性化を図ります。
- 鬼怒川周辺では，生産緑地の指定等による農地の適正な管理に加え，災害時の避難場所としての活用等に取り組めます。東部総合公園ではアーバンスポーツをはじめとする多様なスポーツ機能等の導入を図り，LRT 沿線における緑あふれる新たな拠点の形成を図ります。
- 市民協働の管理を実施しているみずほの自然の森公園や，鬼怒川緑地運動公園等，既存の緑のふれあい拠点の活用を推進します。また，生産緑地制度等の活用や，農福連携等の多主体の参画によって，農地の保全及び農とふれあう場の創出を図ります。
- 清原工業団地等の工業地帯では，緑化による環境負荷の低減や景観形成を推進します。また，ニホンアカガエルやサンバが生息する農地と樹林が混在する環境や，カワラノギク等の礫河原の植物がみられる鬼怒川沿いの河川敷や河畔林，鬼怒川緑地運動公園等に残るワンドや湿地といった水辺の緑を自然体験や緑とのふれあいの場として活用するとともに，その保全を図ります。

基本方針3 みどりを楽しみ，愛着を育む

- みずほの自然の森公園や，鬼怒川緑地運動公園といった緑のふれあい拠点におけるイベントの開催や，市街地における地域の緑の魅力や取組に関する普及啓発活動を推進します。
- 農地，工業地域，居住地域といった多様な土地利用の共存する本地域では，既存の多様な主体の緑の取組に対する参画可能性を考慮した取組を進めます。また，LRT 停留場周辺エリアやテクノポリスセンターエリアでは，地域外からの来訪者や新規住民等，緑に関わる新たな主体の参画を推進します。



東部地域の緑の状況

※図の表示内容は、上の階層から下の階層にかけて、次の番号順に表示されている。

- ①市を代表する自然環境
- ②ネットワーク（コア、1次サテライトからのバッファ）
- ③地域制緑地（都市公園、県立自然公園、緑地協定区域、保安林、国有林県有林）
- ④居住誘導区域、地域拠点区域、市街化区域
- ⑤うつつのみや百景、文化財
- ⑥流域、河川
- ⑦街路樹（市道、国道・県道）
- ⑧身近な公園誘致圏に含まれていない住宅地
- ⑨市街化区域内の緑被の累積流量積算値
- ⑩樹林地、地被類、田、畑、その他
- ⑪地表面温度分布

5 南部地域

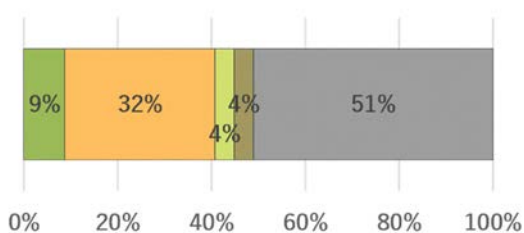
(1) 地域の特徴

JR 宇都宮線や東武宇都宮線，国道 4 号，主要地方道 宇都宮栃木線を中心に市街地が形成され，田川・姿川や，その流域の田園地帯，樹林地，屋敷林等水と緑が一体となった豊かな自然環境が広がっています。また，西川田地区の栃木県総合運動公園では，総合スポーツゾーンが整備され，スポーツ・レクリエーションの拠点となっています。

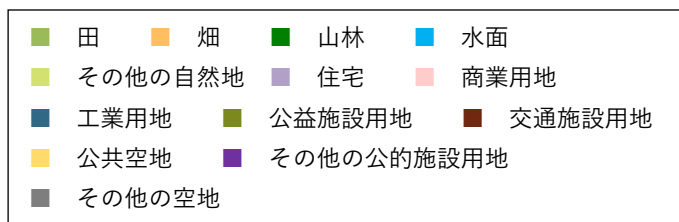
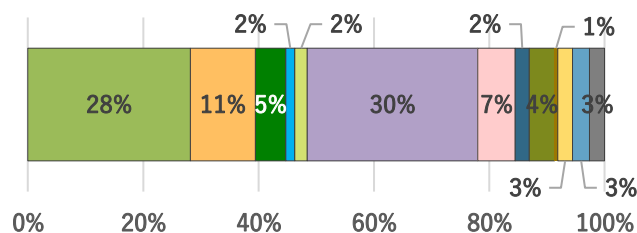


(2) 主要データ

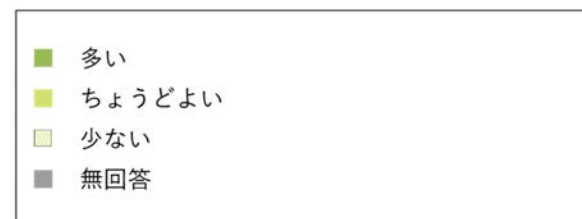
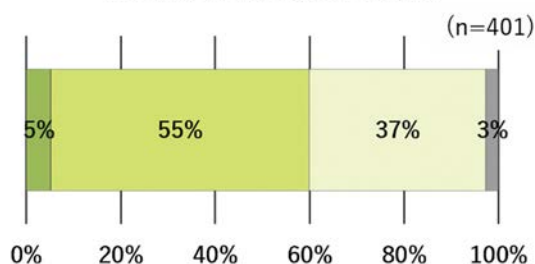
緑被率



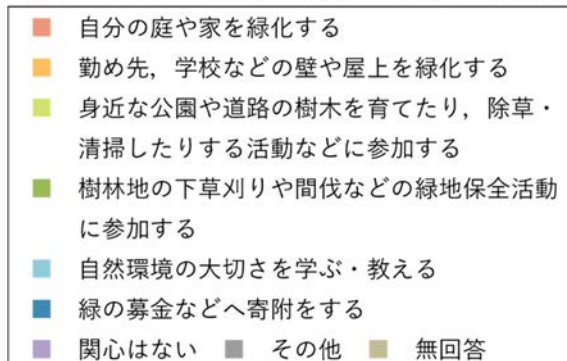
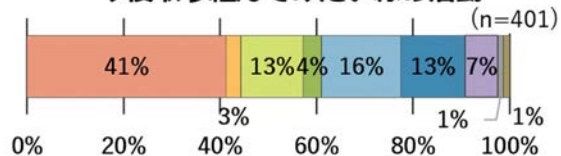
土地利用



自宅周辺の緑の量の満足度



今後取り組んでみたい緑の活動





栃木県総合運動公園



姿川地区の農地

(3) まちづくりの課題

- 鶴田地区等，公園等の整備による市街地環境の改善
- 鶴田沼緑地等，市街化区域内に残る貴重で豊かな自然環境の保全
- 田園地域における農業振興や農村地域の活性化のため，その基盤となる優良な農地の適切な保全，良好な定住環境，市街化調整区域の地域拠点・小学校周辺を中心とした地域の活力，コミュニティの維持

(4) 将来像

田川・姿川に育まれた水と緑が、人々の活発な交流と、 郊外型の快適な居住環境を支えています

(5) 緑の取組方向

基本方針1 宇都宮市を形づくるみどりを継承する

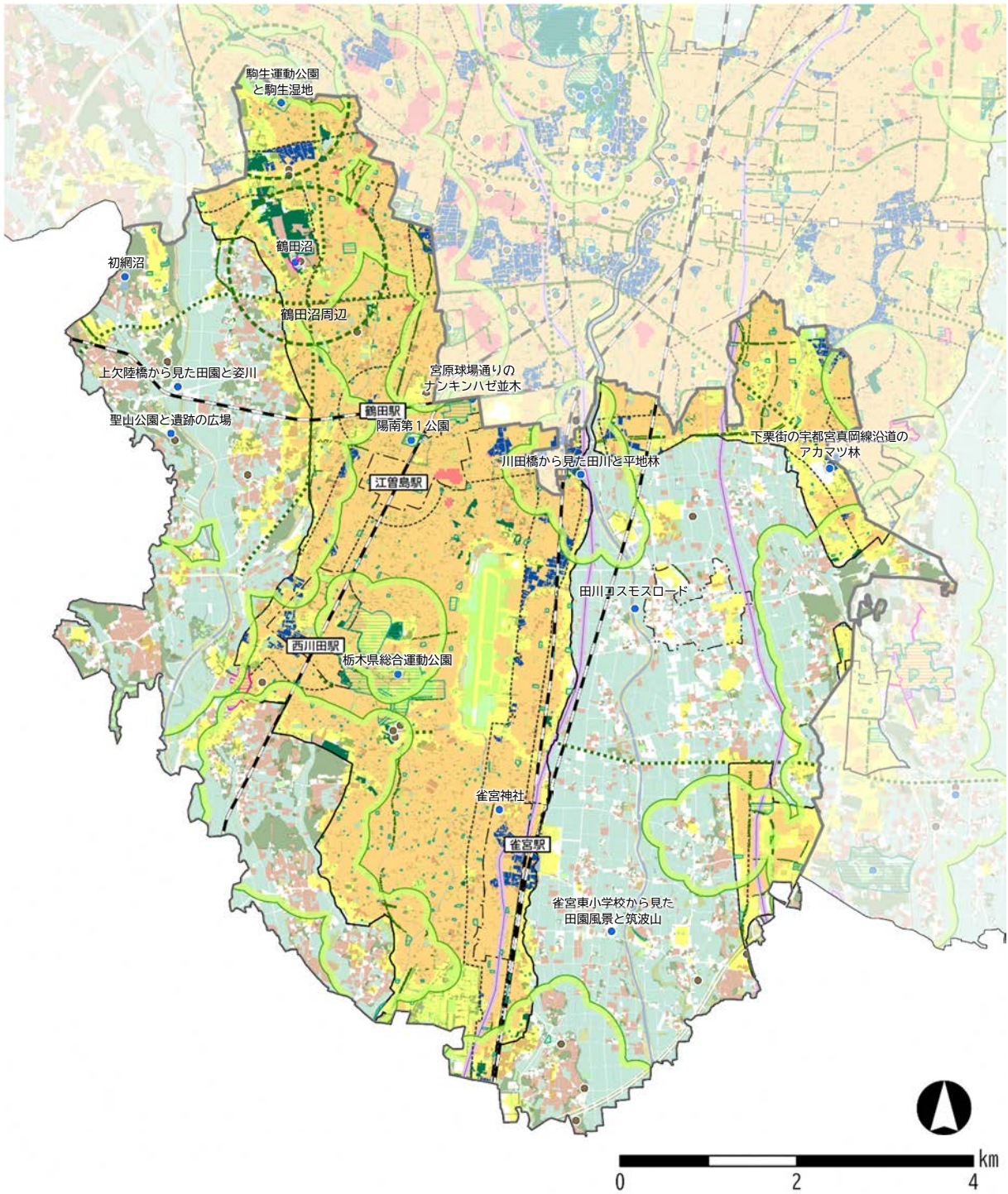
- 鶴田沼緑地や田園地帯に点在する屋敷林等，樹林地の適切な管理を継続していくとともに，保全・活用を図ります。
- 国指定史跡の「上神主・茂原官衙遺跡」やうつのみや遺跡の広場として整備されている「根古谷台遺跡」等，地域の歴史・文化資源と一体となった緑の保全に努めます。
- 田川・姿川等，連続性のある水・緑を保全し，多自然川づくり等，市民が自然に触れ合える身近な空間として活用を図ります。

基本方針2 質の高いみどりを増やし，まちの魅力につなげる

- 雀宮駅周辺では，快適な都市環境の維持や潤いある景観形成に資する緑化を図ります。
- 宮原運動公園等，公園や道路空間等における雨水貯留・浸透施設の設置，避難場所となるオープンスペースの確保等によって，防災機能の強化を図ります。
- 市街化調整区域の地域拠点では，自然環境に恵まれた地域特性を活かし，田川と周辺の田園と調和した居住空間づくりに留意して取り組みます。また，市街化区域においては，生産緑地制度を活用しながら農地の保全・活用を図ります。
- モウセンゴケやアギナシ，ハッチョウトンボ等特徴的な動植物が分布するため池や湿地，ニッコウキスゲの南限と考えられている姿川低地と台地の境付近等の自然環境を保全します。

基本方針3 みどりを楽しみ，愛着を育む

- 自然環境学習等，豊かな自然環境に触れる機会の創出を通じて，緑に関する市民意識の醸成を図ります。
- 雀宮地域をはじめとする農地や里山，田川等の豊かな自然環境の価値等について発信するとともに，農地に関しては，農業者の意向を踏まえながら，農地活用による緑と関わる機会の創出を進めます。



凡例			
<p>地表面温度分布 (°C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 20.1 - 22 22.1 - 24 24.1 - 26 <p>身近な公園誘致圏に含まれていない住宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 身近な公園誘致圏外の住宅地 (居住誘導区域内) ■ 市街化区域内の緑被の累積流量積算値_0.5>_Std.Dev. ○ ネットワーク (コア、1次サテライトからのバッファ) ○ 市を代表する自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市公園 ■ 保全契約緑地 ■ 緑地協定区域 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市機能誘導区域 ○ 居住誘導区域 (緑化重点地区) ○ 地域拠点区域 ○ 市街化区域 ○ 鉄道 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 樹林地 ■ 地被類 ■ その他 ■ 田 ■ 畑 ■ 河川 ■ 流域界 ○ 街路樹 (市道) ○ 街路樹 (国道・県道) ● うつつのみや百景 (緑に関するもの) ● 文化財 (史跡、名勝、天然記念物)

南部地域の緑の状況

<p>※図の表示内容は、上の階層から下の階層にかけて、次の番号順に表示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市を代表する自然環境 ②ネットワーク (コア、1次サテライトからのバッファ) ③地域制緑地 (都市公園、県立自然公園、緑地協定区域、保安林、国有林県有林) ④居住誘導区域、地域拠点区域、市街化区域 ⑤うつつのみや百景、文化財 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥流域、河川 ⑦街路樹 (市道、国道・県道) ⑧身近な公園誘致圏に含まれていない住宅地 ⑨市街化区域内の緑被の累積流量積算値 ⑩樹林地、地被類、田、畑、その他 ⑪地表面温度分布
---	---

